

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) Formula Class 2026年度入校式及び第1回カリキュラムのご報告

拝啓 春暖の候、ますますで清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿)」では4月21日 (火) にFormula Classアドバンスコースの2026年度入校式を開催しました。式典後と翌4月22日 (水) には早くも第1回目カリキュラムを行い、入校式、第1回目カリキュラムともに滞りなく終了することができました。ご協賛各社様に深く感謝申し上げますとともに、ここにご報告させていただきます。

近年、2026年シーズンF1™リザーブドライバーを務める角田裕毅選手をはじめ、多くのHRS鈴鹿卒業生たちが国内外で活躍し注目を集めています。彼らに続くレーシングドライバーの育成を目標に、HRS鈴鹿Formula Classは2026年度も活動を続けてまいります。何卒、ご理解・ご協力のほど、宜しくお願い致します。

敬具

2026年4月21日

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2026 ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) Formula Classアドバンスコース 入校式～第1回目カリキュラム開催概要

【入校式】

- 日時: 4月21日 (火)
- 会場: 鈴鹿サーキット・ピットビル2階 プリーフィングルーム
- 参加: 中野信治Executive Director
佐藤浩二Director
小林崇志Instructor、小出峻Instructor、野村勇斗Instructor
鎌田貴Physical Coach
入校生8名

【第1回目カリキュラム】

- 日時: 4月21日 (火)・4月22日 (水)
- 会場: 鈴鹿サーキット・国際レーシングコース



入校選考会STEP1・STEP2」を経て選抜した8名が参加した入校式。会場にはピリツとした緊張感が漂っていた

















































[50音順]

世界レベルのドライバー育成を目指し、少数精鋭・短期集中で行う HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコースに8名が入校

春真っ盛りの4月21日(火)、2026年度HRS鈴鹿Formula Classアドバンスコースの入校式を、鈴鹿サーキット・ピットビル2階 プリーフィングルームにて行いました。

この入校式には2025年末より開催してきた「Formula Class入校選考会STEP1」および「同STEP2」を経て選抜した入校生8名が参加。来賓および関係者の皆様にもご列席いただき、入校生たちの1年間に掛ける意気込みが満ちた会場を舞台に、厳かな入校式となりました。

まず、ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット モータースポーツ事業部 レーシングスクールセンター 所長 宮澤謙作、続いて株式会社ホンダ・レーシング 代表取締役社長 渡辺康治様より挨拶。その後、Instructorを代表して中野信治Executive Directorより入校生に向けて激励の言葉が贈られました。

その後は8名の入校生を紹介。名前を呼ばれた入校生は返答し、自分の進むべき道筋を見据えた真剣なまなざしでInstructorに向かって一礼しました。



10月末に行われるスカルシップ獲得者発表会までに掛ける想いを新たに心に刻み込む入校生たち

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HECC
BATTERY

 FUSION TALENT
Talent

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINKING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IONY/KARL
19 200 192 200 192

 TORAY
Toray Carbon Magic

 金夢

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
MAX SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

●HRS鈴鹿Formula Class中野信治Executive Directorのコメント

「ご入校おめでとうございます。いよいよ厳しくも最高の学びの時間が始まります。これから世界を目指して戦っていく皆さんには3つのことを忘れずに欲しいと思います。まず一つ目は礼節を大切にすること。二つ目は常に感謝の気持ちを持つこと。この感謝の気持ちというものを持っているかどうか言葉や態度に現れます。モータースポーツは自分一人ではできません。周りを巻き込んでいく人間力のある人。応援してもらえる人。そういう人にならなければなりません。感謝の気持ちは絶対に忘れずにください。そして最後はもっとも重要なことです。持てる時間の全てを自分の目標、夢のために使って欲しいということです。一日24時間の内、23時間を夢のために使うぐらいの気持ちでないと世界を目指すことはできません。気持ちが高いところにあれば夢に近づいていくことができます。皆さんは素晴らしい学びの場にいます。1分1秒を無駄にせず、自分でチャンスを掴みにいってください」



















































[50音順]



Formula Classアドバンスコース入校生8名

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
METROSPORT

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HECC
BATTERY

 FUJITSU
TECHNOLOGY

 Sabell

 CCI

 SHIBA UNION JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IONY/KARL
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 金夢

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
MIXER SUPPLY SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

コースやマシンに慣れることを目的に 入校式後には早速、第1回目カリキュラムを開始

入校式終了後と翌4月22日(水)には早速第1回目カリキュラムを行いました。カリキュラムで使用するのはスクール用に専用設計されたオリジナルフォーミュラカー「HRS-F24」です。この「HRS-F24」はドライバーの頭部を保護する「HALO(ヘイロー)」を装備するなど、FIA基準の衝突安全性能を実現。また、受講生のステップアップを視野に入れたマシン性能やドライビングスキル評価のさらなる精度向上を追求して開発が進められたものです。その「HRS-F24」を使用し、早朝8時から始まった入校式終了直後からと翌22日(水)のそれぞれ午前・午後に2時間ずつ、計5セッション8時間に及ぶ走行訓練を行いました。

ピット内で行われた走行前ミーティングでは、まず佐藤浩二Directorよりスケジュールが確認された後、事前にコースを走り、路面の状態を確認した小林崇志Instructorより初回走行時の注意点が説明されました。そしていよいよマシンに乗り込んで走行訓練へ。

初回のため、コースやマシンに慣れることを目的に、フリー走行を中心に行ったこの走行訓練では、小出峻(スーパーフォーミュラに参戦中)・野村勇斗(スーパーフォーミュラとSUPER GT GT500に参戦中)の両

Instructor、新原光太郎選手(スーパーフォーミュラ・ライツとSUPER GT GT300に参戦中)が同時走行。サーキット走行の経験が少ない入校生に関してはライン取りやブレーキング、アクセルオンのポイントなどを教えるべく、Instructorと入校生が前後を入れ替えながら走行しました。

今回のセッションで安定して良いタイムをマークしていたのが受講2年目の2名。第1回目の走行開始早々、小出・野村の両Instructorおよび新原選手と遜色のないタイムをマークしていたのが受講2年目の2名で、これまでのスクールの成果を証明しました。また、今季初チャレンジする6名のうち、アルゼンチンとオーストラリアからの入校生もおり、スクールも今やボーダーレスな広がりを感じさせるものでした。

また、中野信治Executive Director、佐藤Director、小林Instructorらがコースサイドやピットモニターで確認しながら入校生のドライビングをチェック、走行後には入校生に対して直接アドバイスをを行い、入校生たちも質疑応答など積極的にコミュニケーションする姿が見られました。



入校後、早速の走行訓練となった第1回目カリキュラム
トップカテゴリーで活躍する現役レーシングドライバーも参加し、2日間・5セッション・8時間に渡って実施した

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
MOTORSPORT

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HECC
BATTERY

 FUSION TAIPEI
RACING

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINKING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IGY/KARL
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 金夢

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
MOTOR SUPPLY SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



ピットでコースインを待つ緊張の時間



オーストラリアからスクールに初チャレンジする入校生(17歳)





Instructorと入校生が前後を入れ替えながら走行するなどの実践的な訓練も行う



走行の合間の積極的なコミュニケーションが伸びしろを高め、その都度各自の課題を明確にしながら確実なスキルアップに繋げてゆく





今やレーシングドライバーには必須のスキルとなったデータロガーの活用
 速いドライバーと自分のパラメータを比較し、自分のドライビングやマシンセッティングに活かす能力を高める





傷やひび割れがないかなどを確認するとともに、タイヤをどのように使っているかを確認する意味でも重要な意味を持つホイール洗浄走行後のルーティンワークだ



鎌田貴Physical Coachによる内田クレペリン検査(適正検査)を実施。入校生個々の適性データを今後のカリキュラムに活用する

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
MOTORSPORT

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HECC
BATTERY

 FUJITSU
TECHNOLOGIES

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINDING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 IGNY/KARL
THE ENDLESS RACE

 TORAY
Toray Carbon Magic

 金夢

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
MIXER SUPPLY SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS